

普及現地情報



発信年月日：令和3年（2021年）12月21日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C21027
部門分類：130（工芸・特用作物）
発信者名：竹若、近藤知

令和3年度第2回朝宮茶有機栽培研究会を開催！

12月7日、甲賀市信楽町の朝宮茶拠点施設において、令和3年度第2回朝宮茶有機栽培研究会（以下「研究会」）を開催し、「有機栽培茶を活用した産地づくり」と題して、6次産業化プランナーによる講演会を実施しました。

第1回研究会で出された「茶商がどのような有機茶を望んでいるか聞きたい。」という意見を受けて、今回から茶商にも研究会に参画いただきました。当日の参加者は茶農家13名、茶商2社、関係者6名の合計21名でした。

講演では、プランナーから、「おいしい茶と有機茶は両立しない」「海外流通向けの有機茶は萎凋、ほうじ香、てん茶など、相手の好みに合わせた特徴を付加する必要がある」「朝宮茶の良さをアピールする方法を早急に確立しないと産地が埋没する」など、今後の朝宮茶のブランド確立に向けて検討すべき方向性ととともに数々の刺激的な提言をいただきました。

参加者からは、「朝宮茶の品質へのこだわりや秋に熟成してうまみが強くなること、親子番茶のほうじ茶がうまい等、朝宮茶には良いところはたくさんあるのにうまくPR出来てない」などの意見が聞かれ、「成功している産地の実情を知りたい」といった積極的な意見も出されました。

当課は今回の提言を受け、今後も海外輸出に対応出来る有機栽培茶の開発や、朝宮茶のPR戦術等を検討する機会を継続して作れるよう支援していきます。



研究会の様子